

ゴン だ よ り



くどいようですが 来ます！ 必ず

「量」～「質的な変化」 今のお子さまたちは、

ゲーム、パソコン、速い展開のテレビ番・・・情報をどんどん処理して、頭の回転は速くなっています。それなのに、学力があがらないとしたら不思議ですよね。原因の一つに、考えたり、試したり、できるまで繰り返したりの量をこなす環境を私たち大人が意識してつくっていないことがあると思います。「このくらいでいいかあ」「このあいだまでゆとり教育だったじゃん」「ふつうに生きていけるし」「勉強やりすぎて病気になってもこまるし」「小学校のテストは100点だからいいんじゃないのお」と思いがちです。小学校の授業や宿題は本当に誰でもさっとできるようになっています。そういう方針だからです。そこで安心していただけれど、いざ中学のテスト、高校受験になったとき・・・ビックリ、ガックリという声がたくさんあります。お子さまの脳は知識欲でいっぱい。訓練さえしていけばどんどん伸びます。量は何時間よりも「何回」を優先します。タイミングもあります。39世代と10歳以降の脳の発達段階に合わせての取り組みは何回かお話ししてきました。どのタイミングにおいても、学習や練習の量はたくさん必要になります。スポーツと共通します。やり方と同時に練習量は大事です。1回より、5回、10回より50回の方が力が伸びます。明日からすぐに効果がでるわけではありませんが、「量的」な積み重ねをしていくと「質的」変化がドカーンと大爆発であらわれ、ちがうステージにあがるときが来ます。必ずです。この積み重ねは学校だけではやりきれません。塾でもサポートをいたします。しかしご家庭にはかかないません。幼少期からの遊びや自然体験での五感を通した体験知識、言葉や数、時間の感覚、具体的な学習の技能獲得。目標にむかって自分で考えて頑張る力、達成の喜び体得・・・。365日×〇年 夏休みも祭日も関係なく、生活の中で、一緒に学ぶ積み重ねができるのはご家庭だけです。遠慮せず、毎日、計算も漢字も文章問題も学校の宿題以上のレベルでやって当たり前の学習習慣を早いうちにつけましょう。家での能率があがらないようなら、図書館や塾での学習環境がいいんじゃないのと声かけをするのも環境作りです。質的变化が起きることを信じて、量的積み上げをしていきましょう。

ことわざクイズ。 試験にも 数字に関することわざがたくさん出ます。 普段でもつかうよ。

・() 寸の虫にも () 分の魂 小さく弱い者にも、それなりに意地や誇りがある

どんな相手でもばかにしたり、ゆだんしてはいけない

四谷大塚 全国小学生統一テスト 11月3日

えんぱーく 5F イベントホール 9:00～12:30

授業日 休日の確認をお願いいたします

やきいも デリシャス
ワニゴンの主食



11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

3日四谷大塚全国テスト